了解事項の骨抜き許さず
治療補償 勝ちとる闘いつづく

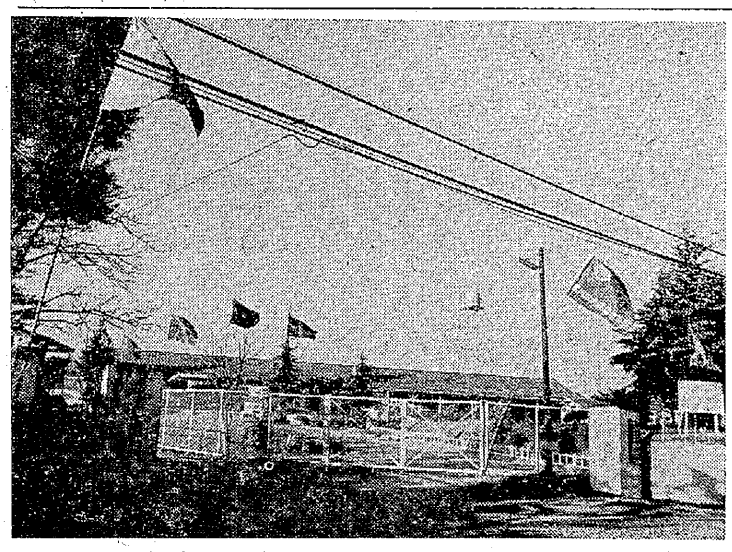
労災補償金うけとる

去る十一月二十四日労仂省との間でとり交された「了解事項」の第二項(ト)「前段の期間中（二名ずつの医師による診断の結論がでるまでの期間中）のものについては八〇パーセント相当額を確保するものとする」にもとづき三池労組のガス患者全員は、平坪賃金の八〇パーセントを三十日分と従来通りの見舞金（入院患者六千円、通院患者千円）を十一月分労災補償金として、組合を通じて十二月十五日に受け取った。

この支払いは、あくまでも労仂省との了解のもとに行なわれたものであるが、これは殺人合理化の責任追及をふくめ、いままでの労災補償のカベをわれわれの力で破った一つのあらわれである。

骨抜きねらう動き

一方、三池労組は十二日、二百六十四名（全員）（治ゆ認定に対する審査調求書を大牟田労仂基準監督署に提出した。



病院側の処置に抗議して、労災病院正門に赤旗をたてたたかう患者会

これは去る十一月二十四日、労仂省との間で結ばれた了解事項にもとづき、あくまで形式的なものであり、実際の治ゆ認定は組合側医師と当局側医師の合議で決定されることになっている。

ところが監督署は、了解事項を尊重する態度をみせず、請求書に理由が書いてないと、受け取りを拒否したばかりか「組合側医師の診断はあくまで参考意見であり、決定するのは監督署（審査官）である」と発言し、了解事項の骨抜きをねらう態度をはっきりと示した。

赤旗三十二本をたてる

大牟田労災病院の患者会は、先月三十日以来労仂省との了解事項にもとづき、入院患者としての待遇をつづけるよう病院側（安河内所長）と交渉をしてきたが、病院側はリハビリの設備や道具を使用させない、付添婦をへらす、面会室にストーブを入れないなど、了解事項を全く認めない態度をつづけた。患者会は反省を求めるため九日から三十二本の赤旗を病院正面に高くかかげ、抗議をはじめた。

あわてて一時金払う

新労組は一時は百二十五名以上の審査請求者がでて、会社と政府の意を受けた幹部をおどろかせたが「最低の人でも十四級はとってあげようと努力されている中で、審査請求をすれば、期間の関係もあり、十四級さえとれなくなるおそれがある」（十一月、別府旅行のときの中島医師の発言）と、障害認定の一時金で患者の不満をおさえつけ、傷害認定に切り替えさせたが、それでもついに九十三名もの人が再審査を要求し、新労組患者のギリギリの抵抗ぶりをみせた。

しかし、傷害等級認定を請求した三百七十七名（新労組二百九十八名、転員六十七名、組夫二十八名）については、一日もはやくガス患者との「縁を切りたい」という三井鉱山の意を受けて二十一日から二十三日にかけて、一時金が支払われるが、三百七十七名のうち、百二十五名が十二級（百四十日分）、二百五十二名が十四級（五十日分）と決定した。

三百七十七名の人たちは、これで一切の治療の権利を放棄したことになる。

つらぬかれる患者

分断・マツ殺の攻撃

三池労組の患者が「了解事項」を足場に治療と補償をたたかいとっている間に、新労組・転組・組夫の患者は、会社・政府の一方的意図でつぎつぎに「片づけられ」ている。

「了解事項」を契機にした、会社と政府の三池労組の患者孤立化の攻撃を許してはならない。

新賃金とは？

▼…電子計算機（IBM）を入れてから、歩増しがへったな。「新賃金になるとわかりやすい」と、会社はいうばってん。新賃金とは、金が安くなることらしい。

会社は「一年間はいままで通り賃金の減少はないが、後はわからない」と約束したけど、二十六御丙方係員がA君にいっているのを横で聞いていたら——

「能率給の一割まで、係員の鉛筆ひとつでできるとばい」

着到場の人を坑内配転しやがって。そのおかげで歩増しの出し方がおそくなった。係員が家へ持って帰って日誌を書いたり、月末にまとめて書いたりして出している。下級転員にも労仂強化の反面、低賃金の波がじわじわと押し寄せてきている。

（三川支部二十四分会新聞「ごきぶり」NO8から）

趣味をめぐる ⑦
スポーツでも三池の火を

四山 溝江嘉人さん

日頃の練習を土台に

採炭工の溝江さんは、鉱山学校時代から走りはじめ、九州一周駅伝に二回、南北従断駅伝に七回も出場したことのあるマラソン選手でもある。

「走ること自体には、何の変化もなくておもしろくないから、好きでないと走れません。知らない人は簡単に走れると思っていますが、やはり日ごろの練習が土台となってはじめて走れます。しかし、私は三交替転種にかわってから、あまり走れなくなりました」と語る。しかし「走っているときは、もう走らんと思うほど苦しいときでも終るとやっぱり、またやろう」という気になるから不思議だそうである。

仲間の応援に感激

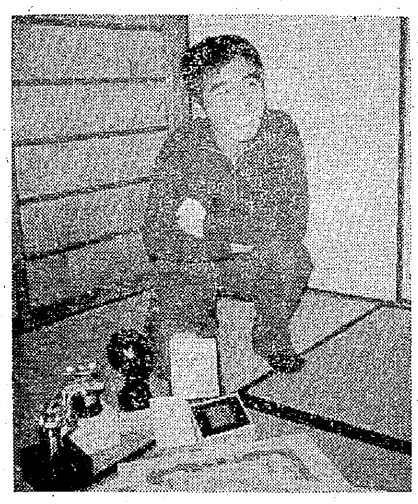
「大地評駅伝に出たとき、何もいっていなかったのに、もう停年でやめた三池労組員の先山がバイクで応援にきてくれたのには感激しました。そせいかいい記録がとれました」

「闘争直前ごろ、みかん山マラソン大会があったとき、病気あがりでスタミナがないのに坂道を二十五キロも走り、ゴール寸前には、目の前で道が大きくゆれ出し、ゴールしたときはぶったおれたことがありました」と、うれしかったこと、苦しかった思い出はつきない。

三池労組ももつとスポーツを

そんな溝江さんにとって、残念なことは、三池労組がまだスポーツ面には積極的でないことである。

「第十二回の九州一周駅伝に出場したときは、転場からの応援と社青同からカンパしてもらって出ました。そうして出たのも、私としては、三池労組は差別されて苦しめられても、これくらいやれるんだという根性をみせたいと思いました。



三池の火を拡げるとかいいますが、それは運動の一面に限らないと思います。もちろんそれも大切ですが、その運動の中から生まれた人間性というか、それはスポーツでも、音楽でも、文学でもいいと思います。三池がもっているたくましさや明るさを、もっと積極的にアピールする必要があると思います」と炭坑マンの土性骨をスポーツにもというのが溝江さんの願いである。

逮捕や賃金カット
日教組へ、弾圧反戦スト

十月二十一日の反戦ストを先頭に立ってたたかった日教組へ警察庁は政治ストを理由に狂暴な弾圧を加えはじめた。

まず十二月十日、東京都教組委員長ら十名の逮捕につづき、十二日には佐賀県教組委員長ら十名、同じ日に東京都教組の支部長ら八名を逮捕した。

十三日には、佐賀県教組を十月二十一日のストのためにオルグしたという理由で日教組中執二名を逮捕した。

このような狂暴な弾圧は今後もつづけられることが予想されるが日教組は十二日「この不当弾圧は佐藤腐敗内閣への国民の不信感を弾圧でスリ替えようとするものだ」という声明を発表した。

これは、保安サボの犠牲者であるCO患者をクビ切ろうとする三井や政府の動きと全く同一のものであり、われわれもともに抗議しよう。

抗議先

佐賀市城内一丁目佐賀県警本部 山寺本部長

激励先

佐賀市松原町五八の三 佐賀教転員組合

火花

拝啓 今年もあますところあと一と月となって参りました。お変りありませんか。

CO患者労災打ち切りの報に接したときは、本当に心からはげしい怒りがこみあげてきました。独占資本と政府の非人間的なやり方には全く言葉すらありません。

それにもめげずたたかっておられる、三池労仂者と主婦会の方々に心から応援したいと思っていますが、現実にあまり役にたっていない自分を恥かしく思います。しかし、いましばらく待っていて下さい。三池の火は、尼崎に小さくではありますがともりつつあります。

必ずともにたたかえる日が、ともに勝利する日がきます。それまでは苦しくてもお互いの条件の中でたたかい抜きましょう。

尼崎の近況を報告します。すでに新聞でもご承知と思いますが、二十日に行なわれた知事・市長の選挙で、知事は敗れましたが市長は社会党公認の市長が当選しました。激しい選挙戦でした。私も八日間休んでこの市長選を階級闘争の一環としてとらえたたかい抜きました。保守に一万七千票の差をつけて勝利しましたが、もちろんたたかいはこれからです。党（社会党）にも社青同にもいまのところ革新市長を支えていける力はあまりにも弱いようです。私は転場で反合理化をたたかうなかで、仲間をつくると同時に、地域にもその輪をひろげ、転場—地域と結合した組織づくりを行なう必要にせまられていると思っています。

住金でも共に闘える日を

尼崎 田之上鉄男

一時金は、年間手取り十二万三千円です。

太田前総評議長が尼崎にきて、私たちが主催した青年集会に参加してくれましたが、その中で「住金」の労仂者はバカタレだといいました。私も全くその通りだと思います。しかしあせってはいけないと思います。

長期抵抗路線をいま理解できたような気がする私です。

「石蕗の花が咲きました」は仲間たちにもとても好評です。

三十才の先輩も読みながら涙がでてしようがなかったと語ってくれました。

一時金を受け取ったら労大からまとめて取りよせてもっと仲間に読んでもらうつもりです。

どうかお身体を大切に頑張って下さい。奥さんや子どもさんによろしくお伝え下さい。乱筆、乱文お許し下さい。

兵庫県尼崎市北城内
八十八の二十平和荘
田之上鉄男

高槻様

▽NHKを告発する放送白書

日放労（NHK労仂者の労組）の番組制作部門の労仂者たちは、このほどNHKのなかで起きた番組規制のぼう大な事実をまとめた放送白書『原点からの告発』をつくった。白書では核潜寄港の報導で「デモをうつしてはダメ」と圧力がかかるなどがバクロされているが、NHK当局は同白書の公開をおそれて圧力をかけている。